

第15回

佐倉市スクールガード

〈アイアイプロジェクト〉

フォーラム



【紙面開催 ～各小学校による意見のまとめ～】

テーマ 「登下校における地域の安全対策」

～子どもたちの安全確保のためにできること～

スクールガードボランティアの皆様、保護者の皆様、学校職員の皆様におかれましては、日頃より子どもたちの安全確保のためにご尽力賜り、心より御礼申し上げます。

この度、各小学校のスクールガードボランティアの皆様、保護者の皆様、学校職員より、「登下校における地域の安全対策」～子供たちの安全確保のためにできること～のテーマのもと、貴重なご意見をいただき本当にありがとうございました。

以下に皆様の意見をまとめましたので、参考にさせていただければ幸いです。子どもたちの安全確保のために行っている様々な取り組みや工夫を共有することで、より一層、安全意識が高まることを期待しております。

アイアイプロジェクトはスクールガードボランティアと保護者、学校関係者の連携が重要であり、皆様の支援を得て、本事業が進められております。今年度は紙面開催となりましたが、スクールガードフォーラムを通して、今後のアイアイプロジェクトを一層充実させていけるように尽力してまいります。引き続き皆様のご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

◇効果的な取り組み

○見守り活動の実態や工夫

- ・ガードボランティアや保護者、教職員による登下校時の見守り、付き添い、指導を行っている。
- ・登下校時間に合わせて犬の散歩、道路の清掃を行い、多くの目で見守りができるようにしている。
- ・自宅から学校まで、可能な範囲でパトロールを実施している。
- ・当番制で見守りパトロールを行っている。(見守りの時間調整を含む)
- ・パトロールベストや腕章、名札を着用する。
- ・朝の挨拶運動を兼ねて児童たちの登校の見守りを行っている。
- ・1年生の保護者を主に対象とし、「親子下校」をPTAの校外指導部で計画、実施している。

○情報の共有や発信

- ・危険箇所はLINEで共有すると、素早く報告できる。
- ・自治会で横断歩道の児童待機場所の安全性や、交通状況の確認を地域に発信している。
- ・連絡網として「マチコミメール」を利用し、情報共有に努めている。
- ・毎月下校時刻一覧を作成し、メールで知らせたり、必要数を印刷して渡したりしている。
- ・会議等を行い、通学路の危険箇所等について地域・保護者・学校と情報共有をしている。

○危険箇所の確認

- ・年に数回、定期的に交通事情の悪い危険箇所を確認している。
- ・危険箇所に交通安全を呼びかけた看板を設置した。

○学校における安全指導

- ・学校の学級活動、朝の会、帰りの会等で安全教育を実施している。
- ・学校で危険箇所や子ども110番の家を記した「地域安全マップ」を作成したり、見直しをしたりして、子どもやPTA、地域に配付している。
- ・集団下校を月に1回行い、高学年のリーダーを中心に、家の近くまでできるだけ複数で帰る。
- ・安全標語の募集、作成をしている。

困っていること	改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・通学路は狭い道が多く、また、歩道も狭い箇所がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校やガードボランティア、保護者だけでなく、地域全体で見守る。
<ul style="list-style-type: none"> ・交通量や歩行者が多い道があり、時間帯によっては危険である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童への交通安全指導を徹底するとともに、児童の姿から、地域の方や車を運転する方に安全への意識を高めてもらう。 ・横断歩道で止まってくれた車の方に児童や大人が一礼をする。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化等の理由によりスクールガードボランティアの人数が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地道な声かけをしていく。 ・地域人材の掘り起こしや地域住民との意見交換を行う。 ・ながら見守り等、可能な時間を利用した形で保護者からも協力を得る。 ・学校便りによる募集を行う。 ※こうほう佐倉にてボランティアの募集をしております。[学務課]
<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードボランティアや教職員に頼っている児童が多く、道路を横断する際に自分の目で車を確認する習慣がない児童が見られる。自分の命は自分で守ることの意識が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭で安全教育の充実を図り、子ども自身が安全への意識を高める。 ・登校班指導の際に、危険な場所の確認をする。また、地区児童会等で資料映像を視聴させる。 ・子ども110番の家を知る。
<ul style="list-style-type: none"> ・下校時に低学年だけの下校となる日がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便り等で下校時における見守り活動を依頼する。
<ul style="list-style-type: none"> ・児童数が少なく、同じ地区班であっても一人一人の家が離れているため、一番遠い児童が一人になってしまうところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に「まちコミメール」の登録をお願いし、緊急時等の対応を推進する。 ・児童の下校時間を地域の方が把握できるように学校だよりに記載して地域に配布する。
<ul style="list-style-type: none"> ・参加できる保護者の減少。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力の働きかけや早目に予定を作成し、仕事に影響が出ないようにする。 ・見守り活動の必要性について理解していただき、協力を仰ぐ。
<ul style="list-style-type: none"> ・大人から見た危険と子どもから見た危険は多少なりとも違うので配慮が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが答えやすい簡単なアンケートで良いので「登校中に危ないと感じたこと」「こうなればもっと安全と思うこと」「ここが危ない場所だよ」と教えてもらえば対応しやすくなる。
<ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動をする方の熱中症の心配がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・暑さ指数が危険や嚴重警戒のときは、パトロールを中止した。
<ul style="list-style-type: none"> ・PTAの意識、動機付けが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA主体で下校指導を行う日を設定する。スクールガードボランティアへの感謝を行動で表す。